

高塚直裕と川手鷹彦によるサロン文化

舞台公演『親の愛、子の敬い』

人はみな自閉症として生まれ、認知症として亡くなっていく…
たおやかな感覚世界の産湯に遊び、そしてまた鋭敏なる感覚の彼方へと去る…
人生の最終章を北国の老人施設で過ごすことになった認知症の女性。
家族、友人、そして施設職員の愛情に包まれて老いの道を歩いていく姿が、
ギリシア神話の壮大なる世代交代闘争に照らされながら、描かれる。
すべて劇作家の実体験と研究から生み出された、心哀しませまた心温まる作品。

2015.5.9. (土)

14:30 開場 15:00 開演

詩と藝術の館ポエティカ

夕張郡長沼町幌内（ポロナイクリニック隣）

参加費 2,000 円 問合せ 電話 0123-84-2864（ポロナイクリニック）

作・演出 川手鷹彦

出演 大人のための演劇塾〈蟹の王子〉塾生

川手鷹彦（かわてたかひこ）

演出家、著述家、藝術治療教育者

スイスのゲーテアヌム言語造形・舞台芸術学院卒業。日欧の子どもの心の保護に携わる。2000年に法務省保護局の依頼で始まった「オイディプス王」等、各地の演劇塾は大きな社会的反響を呼んでいる。また東京大学等での美的・藝術的な講義内容が好評を博す。現在、一般財団法人《花の家》（北海道・東京・沖縄）代表理事。2013年に沖縄県名護市の屋我地診療所に治療教育外来を開設。

2014年より中国の北京春之谷藝術教員養成大学言語造形・演劇及び治療教育者養成プログラム立案者兼筆頭講師を務める。

著書に『隠された子どもの認知』（誠信書房）、物語集+物語論『とらのおおかみ、子どもらの心が生んだ物語』（地湧社）など。

<http://kawatetakahiko.info>